



温故知新で、 阿蘇の観光に 新しい光を。

阿蘇山西巖殿寺
鷲岡嶺照

佐賀市で生まれ育ち、大叔父が住職だった西巖殿寺には子どもの頃からよく遊びに来ていた。中学卒業の前に「お坊さんになってみないか？」と声をかけられ、この道に入る。獣医になるのが夢だったが、命に接することに変わりはないと考えて決めた。「縁があったのだと思います」。

寺は古くから阿蘇山修験道の拠点であり、九州の天台宗の最高位のひとつ。亡くなった方の供養だけでなく、日々、阿蘇山の信者さんや檀家さんが相談ごとにもみえることも多い。「お寺は生きている方のためのものであります」。

代々阿蘇火口の静謐を祈り続けてきた寺の住職として、阿蘇観光の未来にも心を配る。山上にある西巖殿寺奥之院は、縁結びの寺としても有名。良縁成就を願うカップルたちの間で話題になり、二〇〇八年に県内初の「恋人の聖地」に認定された。昔から若い男女が春と秋の彼岸に火口に詣でた「オンダケサンマイリ」など二〇〇〇年続く古刹の由来を広めることで、阿蘇に人を呼びたい。よいところを掘り起こし、付加価値をつけて広めたい。「阿蘇は良い山恋の山。なんてどうですか？」と笑顔が福々しい。熊本最古の寺から、新たな阿蘇のエポックが始まる。



物語の情景が ありありと浮かぶように 歌いたい。

民謡師範
内野朝美

楚々とした立ち姿だ。いかにも優美である。

ところが、熊本民謡の代表格「おてもやん」の朗唱が始まると、あたりの空気全体がいつべんで張りつめ、昂揚する。若き民謡師範、内野朝美さんの歌声は聴く者の心を揺り動かさずにおかない。

少女時代、典型的なおばあちゃん子だった。大好きなおばあちゃんを喜ばせたい、その一心で、そうだ、民謡を習おうと決めたのは十九歳のとき。

はじめてお師匠さんのナマの民謡を聴いたときのことには忘れられない。

「あまりの感激で、わたし、鼻血を出しちゃったんです」民謡で鼻血を出す人など他にいないだろう、それこそが特異な才能の表われだった。めきめき上達し、二十四歳で師範の免許を取得し、二十八歳で熊本県の大会でみごと優勝、翌年の全国大会にも出場した。

「物語の情景がありありと浮かぶように歌いたいです」そして、阿蘇の子どもたちにこの文化をしっかりと伝えていく決意だ。

あるがまま、という貴さ。
人と自然が共作する阿蘇。

然についてのお問い合わせは、

阿蘇市「草・観・然」活性化事業推進会議事務局(阿蘇市観光課)
TEL. 0967-22-3174 / FAX. 0967-22-4566

aso-zen.com

人の力を 信じる。

阿蘇の誇りと実りのブランド

然

zen
A s o C i t y

● 阿蘇の自然を舞台にした人びとの営みこそ大きな力を持っている、という考えで2013年秋にスタートした「然」。活動の広報として、お一人お一人のポスターを制作しています。

※掲載された内容は取材当時のものです。

今月の主な内容・CONTENTS

- 4 新年のご挨拶
- 6 2018年を振り返る
阿蘇市の10大ニュース
- 8 まちの話題
- 14 市役所からのお知らせ
- 20 阿蘇医療センター通信 Vol.39
- 21 人権作文 竹原 莉子さん
- 22 図書館へ行こう！
- 23 暮らしの情報
- 26 子育て支援センター情報
- 27 お慶び ご寄付
- 28 ASO 田園空間博物館通信 No.77
- 30 カルデラ暮らし Vol.21
- 31 地産地消クッキング ブロccoliのマヨ・カレー和え
さわやかフレッシュマン 大城 千佳さん
- 32 1月カレンダー

今月号の表紙

12月16日に中通公民館で中通公民館分館祭りが開かれ、地域の幼稚園児や小中学生を含めた150名が参加しました。そば打ち体験や餅つきなどの交流イベントが行われ、新しい年を迎える準備を子どもたちは目を輝かせながら楽しみました。



市役所からのお知らせ (14~19)

2月18日(月)から、平成31年度(平成30年分)市県民税・国民健康保険税の申告が始まります／阿蘇市議会議員一般選挙／20歳になったら国民年金／食改だより／阿蘇市競争入札参加資格審査申請書を受け付けます／市外の人でも広報あそを購読できます

暮らしの情報 (23~25)

「国の教育ローン」(日本政策金融公庫)のご案内／スポーツ安全保険に加入しましょう！／心のバリアフリーで迎える2019国際スポーツ大会／鶏、山羊、いのしし等を飼養する人は定期報告が必要です／平成31年4月に「くまもと林業大学校」開校／くまもと障がい者スポーツ大会参加者募集／阿蘇の地域づくりカフェ ジオパークについて語ろう／一の宮マリズ少年野球クラブ部員募集・体験会のご案内／阿蘇税務署での面接相談は事前予約が必要です／広報あそ広告募集／法律相談／登記相談／心配ごと相談／障がい者相談／年金出張相談／消費生活相談／認知症カフェ／こころの健康相談／あそ若者就労相談会／「知らせますケン2」にご登録の方へ住所登録のお願い／二重峠トンネル工事進捗状況

夢を追いかける青少年の声を届けますー

夢を追いかけて

私の将来の夢、それは義肢装具士になることです。

私の祖母は農作業中に手にけがをし、そのことがきっかけで、何かできないかと考えてきました。また、パラリンピックで義手や義足を付けた人が一生懸命にスポーツをしている姿を見ると、「格好いい。」「私もがんばろう。」という気持ちになります。

義肢装具士は、求められる技術も能力もとても高く、人の気持ちがよくわかる人間でなければならないと思います。難しい道だと思えますが、祖母をはじめ、頑張っている人たちに笑顔と力と夢を与えられるような義肢装具士に、私はなりたいと思っています。

柴田 望々羽

しばた ももは／阿蘇西小学校・6年